

## 「急性期脳梗塞患者の自宅退院予測における入院7日目FIM下位項目の有用性」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2024 年 5 月 2 日から 2024 年 05 月 31 日までを予定しています。

### 【研究の意義・目的】

急性期病院における脳卒中リハビリテーションプログラムは、脳卒中の病態、個別の機能障害、ADL 障害、生活上の制限などの評価およびその予後予測に基づいて計画することが勧められています。脳卒中患者における転帰先予測に関する先行研究は多く、高い ADL 能力獲得の重要性についての見解はどれも一致していますが、具体的な判断基準を示しているものではありません。在院日数の短縮化が進む中、入院期間短縮と早期転帰予測の両立が因子解析上の要点であり、そのためには経時的な ADL 変化の調査が必要であると思われます。そこで今回、脳梗塞患者の基本特性と FIM 下位項目から ADL 能力を後方視的に調査し自宅退院に必要な ADL 条件を検討することを目的としました。

### 【研究の対象】

小倉記念病院において 2022 年 04 月 01 日から 2023 年 03 月 31 日の間に、脳梗塞を発症し当院入院後、保存的加療でリハビリテーション介入のあった患者さんを対象としています。

### 【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、性別、年齢、同居人の有無、介護保険の有無、病型分類（ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症、塞栓原不明）、歩行練習の有無、NIHSS、FIM-M 下位項目（全 13 項目）、Functional Independence Measure Cognitive Items(以下、FIM-C)、高次脳機能障害の有無、既往歴（糖尿病、高血圧症、脂質異常症、心房細動、脳血管疾患、呼吸器疾患、整形疾患）の有無、合併症（尿路感染症、誤嚥性肺炎、心不全）の有無、有害事象（運動麻痺増悪、新規梗塞、出血性梗塞）の有無です。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・吉川 和也の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

### 【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 リハビリテーション課 担当者 吉川 和也  
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号  
電話 093-511-2000（代）